

まだらの風



令和8年 1月13日
学校便り No.17
校長 原口 真

『 育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

1月8日の登校時間に、育友会の皆さんにあいさつ運動を行っていただきました。子どもたち一人ひとりに「おはようございます！」と声をかけていただき、子どもたちも元気をもらいました。寒い中ありがとうございました。

3学期スタート！新しい年に目標をもってチャレンジを



1月8日、3学期の始業式を行いました。お正月は家族とゆっくり過ごした子どもたちが多かったようです。あたり前の日常を過ごせることへの感謝を大切にしたいと思います。校長講話として、今年の干支である「午」について話をしました。「午」は12時を指し太陽がいちばん高いきおいが強いこと、「馬」は前へ進む、行動・挑戦することとつながりが深いことから、自分の夢や目標に向かっていきおいよく行動し、挑戦することで大きく成長してほしいと伝えました。飛躍の年になることを願っています。

続いて、生活目標の担当の中学2年生と小学6年生から「新学期つぎにつなげる目標でみんな一緒にレベルアップ！」と提案がありました。リズムよくみんなで復唱して気持ちを高めました。最



後に、生徒会長の提案で個人目標の発表がありました。小1から中3までがそれぞれ前に立ち、「漢字をたくさん覚える」「外に出て元気に遊ぶ」「苦手なことを克服する」「中体連で1勝するため」に練習を頑張るなどと今年の目標を述べました。目標にチャレンジする姿を応援します。

2学期おつかれさま会～小学生全員でつくりあげました

12月24日、小学生の「2学期おつかれさま会」が行われました。34年生が集会室の飾りつけをして、56年生の進行による「歩き鬼ごっこ」「だるまさんがころんだ」で楽しく遊び、12年生が準備した衣装に着替えてから一人ひとりが思い出の振り返りを発表。45年生司会によるビンゴ大会の景品は56年生からの手作りプレゼントです。2学期末でお別れをする3年生に児童全員から感謝の言葉とメッセージの色紙を渡してから記念撮影。8人の小学生全員でつくり上げたおつかれさま会は思い出に残る会になりました。



教育論文表彰～戸川先生の研究論文が受賞しました！

12月25日、唐津市の「りふれホール」で教職員研究論文表彰式が行われ、本校の戸川裕介先生が表彰を受けました。馬渡小中学校で進めている「自己調整力を高めるための授業づくり」をテーマにした研究論文を執筆し、審査において高く評価されたものです。学習計画と学習



評価表を先生と児童生徒が共有して見通しを立て、適切な学習方法を自ら選択し、学習した内容と方法を振り返るという先進的な取組で、本校では多くの先生が授業に取り入れています。表彰式では壇上で表彰を受け、続けて行われた実践事例紹介では会場を訪れた各学校の参加者にプレゼンテーションをして研究について説明しました。今後も学校全体で学力向上の取り組みを進めていきます。

【お知らせ】「まだらだから」が市役所ロビーのモニターで映されます

「まだらだから」のPVが市役所1階のロビー（東側入口のモニター）で公開されるとのことです（離島振興室より）。徳丸英器さんは昨年加唐小中学校の子どもたちと「カカラマツカラ」の曲を作られ、合わせて2月中旬ごろまで公開されます。市役所にお立ち寄りの際はぜひご覧ください。

